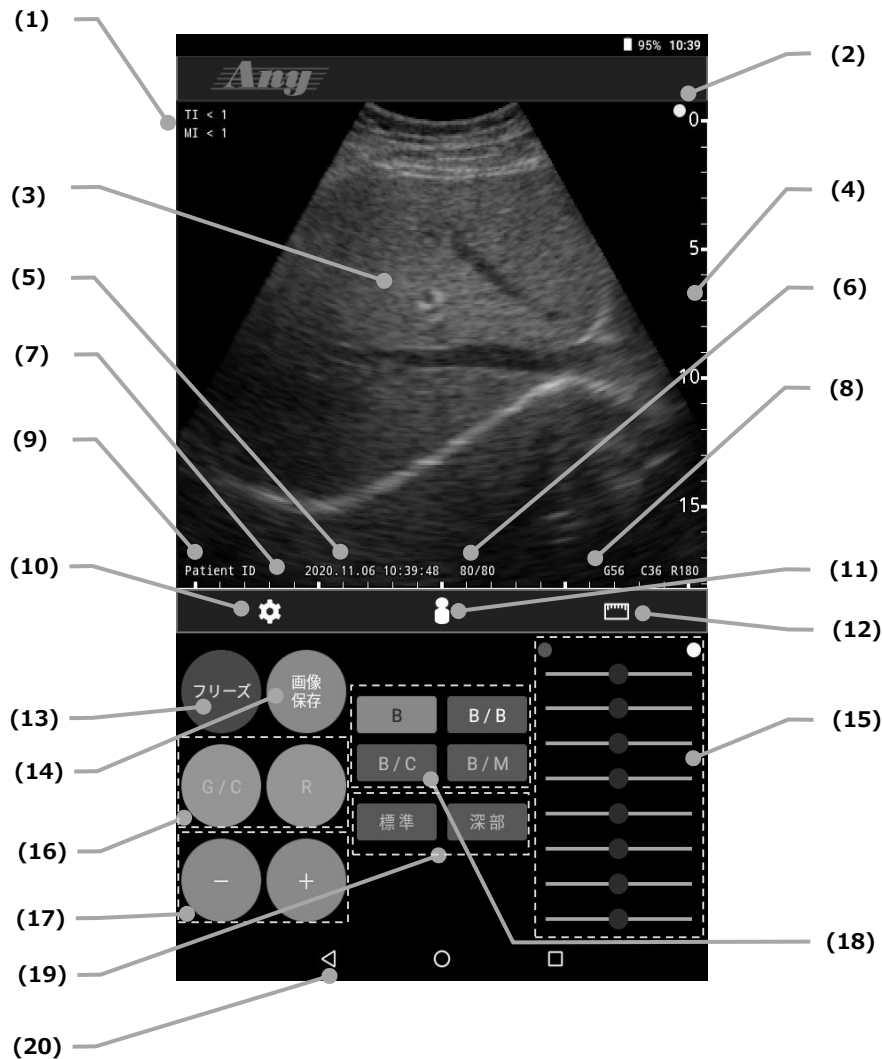


■画面表示

①画面表示（エコー画像 1 画面表示の場合）



エコー画像 1 画面表示の場合

	各部名称	内容
(1)	TI、MI 表示エリア	TI（サーマルインデックス）、MI（メカニカルインデックス）を表示します。
(2)	プローブマーク	エコー画像に超音波プローブのプローブマークの方向を示しています。
(3)	エコー画像表示エリア	エコー画像表示モードが B モードと Color モードの場合、エコー画像は 1 画面構成で表示します。また、エコー画像表示モードが B/B モードと M モードの場合、エコー画像は 2 画面構成で表示します。
(4)	縦スケール	エコー画像の深度を示します。
(5)	日付表示エリア	アクティブ時は日付を表示します。また、フリーズ時は日付に加え、フリーズにした時刻を表示します。
(6)	シネメモリ番号表示エリア	フリーズ時にシネメモリ番号を表示します。
(7)	横スケール	エコー画像表示モードが B モード、B/B モード、Color モードの場合は、視野幅を示します。エコー画像表示モードが M モードの場合の B モードは視野幅を示し、M モードは時間を示します。
(8)	エコー画像調整パラメータ表示	エコー画像表示時の感度（Gain）、コントラスト（Contrast）、表示深度（Range）、掃引速度（Velocity）のパラメータ設定値を表示します。
(9)	患者識別 ID 表示エリア	患者識別 ID を表示します。
(10)	オプション設定アイコン	各種設定を変更する場合に使用します。
(11)	患者識別 ID 設定アイコン	患者識別 ID を設定する場合に使用します。

(12)	計測アイコン	エコー画像を計測する場合に使用します。エコー画像表示モードがBモード、またはB/Bモードが選択されている場合、且つフリーズ時のみ計測を有効にすることが可能です。
(13)	フリーズ/動画保存ボタン	エコー画像をフリーズ（静止）する場合に使用します。フリーズ時に再度フリーズボタンをタップするとアクティブ（動作）に移行します。動画保存ボタンは録画終了を手動で行う場合に使用します。
(14)	動画/動画キャンセル/画像保存ボタン	エコー画像の保存、または動画の録画をする場合に使用します。
(15)	STC 調整スライドバー	各深度における感度を調整する場合に使用します。
(16)	感度/コントラストボタン、表示深度/表示速度/スラントボタン	エコー画像表示時の感度（Gain）、コントラスト（Contrast）の設定値を変更時に、項目を選択する場合に使用します。 エコー画像表示時の表示深度（Range）、掃引速度（Velocity）、スラント（Slant）の設定値を変更時に、項目を選択する場合に使用します。掃引速度はエコー画像表示モードがMモードの場合、スラントはエコー画像表示モードがColorモードの場合に使用します。
(17)	+/-ボタン	アクティブ時は、感度（Gain）、コントラスト（Contrast）、表示深度（Range）、掃引速度（Velocity）、スラント（Slant）の設定値を変更する場合に使用します。 フリーズ時は、シネフレームを選択する場合に使用します
(18)	エコー画像表示モード選択ボタン	エコー画像表示モードを切り替える場合に使用します。 アクティブ時は、Bモード、B/Bモード、Colorモード、Mモードの4種類の中から1つのモードを選択することが可能です。フリーズ時は、BモードとB/Bモード間の切り替えのみ可能です。 また、選択中のエコー画像表示モード選択ボタンをロングタップすることによりユーザープリセットへプリセット設定する場合に使用します。
(19)	体型選択ボタン 観測部位選択ボタン	体型と観測部位に応じたプリセットを使用する場合に使用します。 体型はコンベックスのみ切り替え可能です。（リニアには体型選択ボタンはありません。）
(20)	戻る ボタン	超音波専用アプリを終了する場合に使用します。